

2021 年度東海国立大学機構
融合フロンティア次世代リサーチャー募集要項
(名古屋大学生向け)

○募集 1 : 対象年次 (2021 年 10 月 1 日時点)

博士後期課程	博士 1 年次在籍者 (在籍予定者を含む)
医学博士課程	博士 2 年次在籍者 (在籍予定者を含む)

○募集 2 : 対象年次 (2021 年 10 月 1 日時点)

博士後期課程	博士 2 年次在籍者 (在籍予定者を含む)
医学博士課程	博士 3 年次在籍者 (在籍予定者を含む)

○募集 3 : 対象年次 (2021 年 10 月 1 日時点)

博士後期課程	博士 3 年次在籍者 (在籍予定者を含む)
医学博士課程	博士 4 年次在籍者 (在籍予定者を含む)

*上記以外の詳細は、4. 申請資格をご参照ください

2021 年 9 月

2021 年度東海国立大学機構融合フロンティア次世代リサーチャー
募集要項

1. 趣旨

「東海国立大学機構融合フロンティア次世代リサーチャー事業」（以下、「本事業」という）では、世界・日本が直面する様々な課題を解決するとともに、将来の知識基盤社会を先導する博士人材育成を目的としています。博士後期課程学生（博士課程学生）は、すでに研究の最前線に立ち、大学の研究を根底から支えています。本事業では、優秀な学生に経済的支援を行うこと、また企業等で求められるスキルを身につけるコースを用意することで、就職等への不安を払拭し、研究に専念できる環境を用意します。

加えて、専門の異なる博士課程学生や価値観の異なるメンター、さらにはロールモデルとなるリーディング大学院の修了生などとの交流の機会を設けることで、自身の発想に基づく新たな研究展開や融合研究の創出を促します。

本制度は、文部科学省「次世代研究者挑戦的研究プログラム」と東海国立大学機構により実施されるものです。

2. 申請対象分野（4分野）

4分野あります。分野ごとに目的とする育成人材像が異なります。

I. バイオサイエンス分野

II. 革新的学際分野

III. 脱炭素・環境分野

IV. グローカル推進分野

<育成人材像>

I. バイオサイエンス分野

生命科学・医学に関わる全ての研究分野を対象とする。この分野で高い研究力を持つ東海国立大学機構の強みを活かし、挑戦的、国際的な研究を通じて、世界が直面するさまざまな課題の解決の最前線に立つ博士人材育成を目指す。

II. 革新的学際分野

根本原理に立ち戻って自然と社会の本質を捉え、現状の課題を解答可能な問題に設定し直し、斬新な発想と論理的な思考によって解決法を探ることができる博士人材の育成を目指し設定した。真のイノベーションは、このような根本原理に立ち戻ることから始まると考える。主な対象分野は数物系科学および言

語学、史学・文化人類学を中心とする基礎科学であり、数理、宇宙、人類、文明、社会、生命、物質、素粒子に関する研究間の共鳴や融合を目指す。

Ⅲ. 脱炭素・環境分野

政府目標「2050 年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする」ことを踏まえ、地球温暖化などの気候変動、さらに廃棄物処理などに対応する資源循環、自然共生を前提とした都市再生などの地球規模課題に対し、名古屋大学環境学研究科やフューチャー・アース研究センター、岐阜大学地域環境変動適応研究センターや流域圏科学研究センターなどの強みを生かし、脱炭素社会の実現を含めた地球規模課題の解決に向けて貢献する博士人材の育成を目指すものである。なお、両大学は、2021 年 7 月 29 日に設立された「カーボン・ニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」に参加しており、今後、国内の大学や研究機関、国、自治体、企業との連携を強めていく。

Ⅳ. グローカル推進分野

国際連合の「持続可能な開発目標（SDGs）」を念頭において、国際的な視点から持続可能な地域社会の開発を推進することのできるグローバルリーダー育成を目指す。主な対象は、地域貢献への政策的枠組みを意識した文系分野の研究をしている者および理系分野の応用研究を通じて地域社会の発展に貢献できる者とする。ただし、国内に限定される貢献ではなく、国際的な汎用性をもつ貢献を期待する。

留意事項

- ・所属する研究科・専攻を問わず、いずれの分野にも申請可能です。
- ・申請分野については、第 1 志望から第 3 志望まで選択してください。（ただし、第 2 志望以降は任意）

3. 採用予定人数（募集 1、2、3 それぞれにおける採用人数）

バイオサイエンス分野	32 名程度
革新的学際分野	25 名程度
脱炭素・環境分野	25 名程度
グローバル推進分野	16 名程度

※各分野の採用予定人数は目安であり、応募状況を踏まえ分野間で採用者数の調整を行う可能性があります。

4. 申請資格

本リサーチャーに申請できる者は、次の(1)～(4)（募集2，3においては，(1)～(3)） いずれにも該当する者（外国人を含む）とします。

●募集1

○博士後期課程	2021年10月博士1年次在籍者（在籍予定者を含む）
---------	----------------------------

○医学博士課程	2021年10月博士2年次在籍者（在籍予定者を含む）
---------	----------------------------

(1) 在籍条件

2021年10月に本学博士後期課程1年次（医学博士課程については2年次）に在籍する者又は在籍予定の者

(2) 所属機関の指導教員または後期課程の指導予定教員等が推薦する者

(3) 2021年10月1日時点で以下のいずれにも該当しない者

- ① 所属する大学や企業等から、生活費相当額として十分な水準^{注1}で、給与・役員報酬等の安定的な収入を得ていると認められる学生
- ② 国費外国人留学生制度による奨学金を受ける留学生
- ③ 母国からの奨学金等の支援を受ける留学生
- ④ 日本学術振興会の特別研究員
- ⑤ 名古屋大学融合フロンティアフェロー認定者

(4) 「名古屋大学融合フロンティアフェローシップ（第2回募集）」に応募していない者

●募集2

○博士後期課程	2021年10月博士2年次在籍者（在籍予定者を含む）
---------	----------------------------

○医学博士課程	2021年10月博士3年次在籍者（在籍予定者を含む）
---------	----------------------------

(1) 在籍条件

2021年10月に本学博士後期課程2年次（医学博士課程については3年次）に在籍する者又は在籍予定の者

(2) 指導教員等が推薦する者

(3) 2021年10月1日時点で以下のいずれにも該当しない者

- ① 所属する大学や企業等から、生活費相当額として十分な水準^{注1}で、給与・役員報酬等の安定的な収入を得ていると認められる学生
- ② 国費外国人留学生制度による奨学金を受ける留学生
- ③ 母国からの奨学金等の支援を受ける留学生
- ④ 日本学術振興会の特別研究員

⑤ 名古屋大学融合フロンティアフェロー認定者

●募集3

○博士後期課程 2021 年 10 月博士 3 年次在籍者（在籍予定者を含む）

○医学博士課程 2021 年 10 月博士 4 年次在籍者（在籍予定者を含む）

(1) 在籍条件

2021 年 10 月に本学博士後期課程 3 年次（医学博士課程については 4 年次）に在籍する者又は在籍予定の者

(2) 指導教員等が推薦する者

(3) 2021 年 10 月 1 日時点で以下のいずれにも該当しない者

- ① 所属する大学や企業等から、生活費相当額として十分な水準^{注1}で、給与・役員報酬等の安定的な収入を得ていると認められる学生
- ② 国費外国人留学生制度による奨学金を受ける留学生
- ③ 母国からの奨学金等の支援を受ける留学生
- ④ 日本学術振興会の特別研究員

留意事項

・②～④の制度に申請予定の者でも、当制度の応募は可能です。但し、本リサーチャー奨励金受給開始時に、申請資格を満たしていない場合は、東海国立大学機構融合フロンティア次世代リサーチャー（以下「リサーチャー」という。）となることはできません。

・注1：生活費相当額として十分な水準は、240 万円／年を基準とします。

5. リサーチャー奨励金（以下「奨励金」という）

リサーチャーには、以下の奨励金が支給されます。

(1) 研究専念支援金 月額 18 万円

原則毎月末までに、本人の口座に振り込まれます（2021 年 10, 11 月分は 2021 年 12 月末振込予定）。当所得は、雑所得となりますので、毎年確定申告の手続きが必要となります。

*留学生は、租税条約の手続きを行うことにより確定申告が不要になる場合があります。

(2) 研究費 年額 25 万円

本学にて研究費を管理いたします。本学の会計手続きに従い、研究計画に沿った支出を行っていただきます。

※(1)研究専念支援金、(2)研究費ともに、後期課程 1 年次および 2 年次（医学博

士課程は学年上の年次) 修了時に実施する QE1, QE2 等の結果により, 翌年度の金額を増額する場合があります。

6. 支給期間

奨励金の支給期間は, 最大3年間です。

※令和3年10月より前に博士後期課程に入学(医学博士課程については2年次に進学)した者の支給期間は, 令和3年10月から開始し, 博士後期課程に入学(医学博士課程については2年次に進学)から3年間が終了するまでとなります。また, 支給中断・停止要件に該当した場合は, 支給期間が短くなる場合があります。ただし, 出産・育児等ライフイベントを経た者については, 個別の事情に応じ, 支援期間の中断・延長等も可能です。

7. 申請書類

- (1) 東海国立大学機構融合フロンティア次世代リサーチャー申請書(様式1)
- (2) 研究概要等(様式2)
- (3) 指導教員等推薦書(様式3)
- (4) 申請概要説明動画(詳細については別紙「動画作成について」参照のこと)

8. 申請手続(詳細は, 別紙の申請方法のマニュアルを参照してください)

申請は, 以下の手順で実施いたします。

- (1) 申請事前登録フォームへの登録(申請者情報の登録のみ。ここでは申請書の提出は行いません。)

申請事前登録期間 2021年9月7日(火)～2021年9月13日(月)13時

- ・申請事前登録フォームのURLは以下のとおりです。

URL : <https://dec.nagoya-u.ac.jp/5155-2/>

- ・申請事前登録フォームに必要事項を記載の上, 申請をしてください。

なお, 受付期間を過ぎた場合は, いかなる事情があっても受付はいたしませんので, ご留意願います。

留意事項

- ・申請事前登録フォームは, 申請番号発行に**必須の手続き**となりますので, 必ず期日までに行ってください。
- ・事前登録時に発行される申請番号は, 以降の審査の手続きに使用しますので, 必ず控えておくようにしてください。

・事前登録手続きについては、学内申請者の方（名古屋大学に在学し、名古屋大学 I Dが発行されている者）、学外申請者の方（学内申請者以外の者）は同じ手続きになります。

(2) 申請書の提出について

提出期間 2021 年 9 月 15 日（水）～2021 年 9 月 21 日（火）13 時

提出書類一覧及び提出方法：

提出書類名	提出者	提出ファイル名	提出方法		備考
			学内申請者	学外申請者	
様式 1： 東海国立大学機構融合フロンティア次世代リサーチャー申請書 様式 2： 研究概要等	申請者	form1(申請番号)	NUCT を使用して提出	電子メール添付にて提出 提出先： nu-fellowship2@adm.nagoya-u.ac.jp	様式 1, 2 を 1 つの PDF ファイルにして提出
様式 3： 指導教員等推薦書	推薦書作成者	form3(申請番号)	様式 3 提出フォーム： https://dec.nagoya-u.ac.jp/inquiry/researcher_form3 を使用して提出		PDF ファイルにして提出
申請概要説明動画	申請者	mov(申請番号)	NUSS により提出	※提出先 URL は電子メールを確認のこと	動画作成方法は別紙を参照のこと

<様式 1、2>

提出方法：・申請者から、以下の方法により提出してください。
 ・提出にあたり、様式 1, 2 を 1 つの PDF ファイルにして、ファイル名は form1(申請番号)にしてください。

① 学内申請者（名古屋大学に在学し、名古屋大学 I Dが発行されている者）

申請書類を NUCT（Nagoya University Collaboration and course Tools）使用して提出

・(1)の申請を行った者については、受付開始日に、NUCT 上に申請分野のサイ

ト情報が表示されます。申請者は、博士課程教育推進機構 HP から申請書類のダウンロードを行い、申請書類を作成後、NUCT の申請分野サイトの課題提出機能を使用し、前述の提出期間に提出をしてください。

② 学外申請者（学内申請者以外の者）

申請書類を電子メールにて送付

・(1)の申請を行った後に、博士課程教育推進機構 HP から申請書類のダウンロードを行い、申請書類を作成後、以下の電子メールアドレス宛に上記提出期間内に提出をしてください。（*受付時間は、本学のメールサーバの受信時間で判断しますのでご留意願います）

申請書類を提出された方には、書類受理後 1～2 日（登録日が土日祝日の場合は、翌平日）程度で確認メールを返信します。返信がない場合は、以下のメールアドレスに確認をお願いいたします。

○送付先 nu-fellowship2@adm.nagoya-u.ac.jp

<様式 3 >

提出方法：・推薦書作成者から、直接、以下の方法により提出してください。
・提出にあたり、様式 3 を PDF ファイルにして、ファイル名を form3(申請番号)にしてください。

様式 3 提出フォーム：

https://dec.nagoya-u.ac.jp/inquiry/researcher_form3 を使用して提出

・博士課程教育推進機構 HP から申請書類のダウンロードを行い、様式 3 提出フォームに必要事項を記入の上、様式 3 を前述の提出期間内にアップロードしてください。

<申請概要説明動画>

内 容：以下①に②を含む形で説明用動画（3分以内、30Mb 以内、スライド 4 枚以内（表紙 1 ページ含む））を作成してください。

①研究内容と研究計画の概要

（自分の研究の価値や位置づけ、実際に行う内容、3 年間の計画）

②融合研究の目的やそのための活動、国内外で活躍できる人材になるための活動

提出方法：申請者から、以下の方法により提出してください。

- ・提出にあたり、mp4形式で、以下の形式で**ファイル名をmov(申請番号)**にしてください。
- ・作成する動画の内容、形式、動画作成方法等は別紙「動画作成について」を参照してください。
- ・「申請概要説明動画」は、面接審査において、「申請者からの説明」としても使用します。
- ・作成した動画は、NUSS（Nagoya University Storage Service）で提出していただきます。提出先の URL は、申請事前登録後に、学内申請者については、NUCT のダッシュボードで、学外申請者については、事務局からのメールにより確認してください。

9. 選考及び結果について

(1) 選考

第1次審査（書類選考）及び第2次審査（面接選考）を実施いたします。ただし、第1次審査通過者のうち、第1次審査の結果により、第2次審査を免除し、第1次審査をもって合格とする場合があります。第2次審査（面接選考）は、第1次審査（書類選考）通過者のうち、第2次審査免除者を除き実施致します。

また、審査は、初めに申請のあった第1志望の分野により実施しますが、応募状況により、第1志望以降の分野で審査を行う場合があります。

留意事項

- ・第2次審査（面接選考）を以下の日時に実施いたします。募集1と募集2、3で異なりますのでご注意ください。なお、日時指定に関する希望は一切応じることができません。
- ・面接対象者への通知は、「(3)結果通知」の「○通知方法」と同じ方法で行います。

面接選考日

募集1 : 10月21日（木） 9:00～18:00

募集2、3 : 11月2日（火） 9:00～18:00

- ・面接選考対象者は面接日の2-3日程度前に通知いたします。

(2) 審査方針

評価項目は、以下のとおりとし、個々の要素を踏まえて評価を行います。

- ① 海外を含む有力な研究機関・企業等との共同研究、あるいは融合研究領域における挑戦的研究能力があること

- ② 将来を担う優れた博士人材となることが十分に期待できること
- ③ 研究方法が独創的で、標準修業年限内での研究課題設定が適切になされていること
- ④ 博士号取得後のキャリアと標準修業年限内で培う能力等を明確に自覚していること

(3) 結果通知

合格者に対して、以下のとおり通知を行います。

結果通知日

11月18日（木）

○通知方法

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・学内申請者（名古屋大学に在学し、名古屋大学IDが発行されている者）
名古屋大学ポータル（NUPortal：https://portal.nagoya-u.ac.jp/）に通知。 ・学外申請者（学内申請者以外の者）
申請時に登録していただいた電子メールアドレス宛に通知。 |
|---|

10. リサーチャーの義務

リサーチャーは、以下の義務が課されます。

- (1) 当該年度の研究に関する報告書及び次年度以降の研究活動計画書の提出。
- (2) メンターもしくはキャリア相談教員等との面談。
- (3) 日本学術振興会特別研究員事業への応募。
- (4) QE1 及び QE2 の受験。
- (5) キャリア開発・育成コンテンツの受講
- (6) 本学が指定する公的資金の使用に係る研修，研究倫理教育の受講。
- (7) 義務の実施状況について、指定されたシステムへのデータ登録。
- (8) リサーチャー終了後の調査への協力。
- (9) その他本学が必要と定めた事項。

11. 奨励金支給の停止

次のいずれかに該当する場合は、奨励金の支給を停止します。

- (1) 退学，除籍又は転学したとき。
- (2) 停学の処分を受けたとき。
- (3) 学業成績が不良となったとき。（QE1 及び QE2 に合格しなかった場合。）
- (4) 年度毎の研究成果の報告を怠ったとき。
- (5) 奨励金を必要としない理由が生じたとき。

- (6) 申請資格の(3)の①～⑤（募集2,3は①～④）に該当したとき。
- (7) (1)～(6)のほか、リサーチャーとして適当でない事実があったとき。

12. 奨励金の返還

支給中断、停止の事由により、受給資格がないにもかかわらず支給を受けた奨励金があるときは、その支給を受けた金額のうち受給資格がないものとされる部分の金額を本学に返還することになります。

13. リサーチャー終了後の調査への協力義務

当制度は、文部科学省「次世代研究者挑戦的研究プログラム」の補助の下に実施するため、終了時から10年程度、就職等の現況調査等を行う可能性がありますのでご承知ください。

リサーチャー終了後であっても連絡することがあるため、連絡先の住所、就職先、Eメールアドレス等が変更になった場合は、各大学の担当先へ必ずご連絡願います。

「融合フロンティア次世代リサーチャー」に関する
問合せ先

博士課程教育推進機構

教育推進部教育企画課

E-mail : nu-fellowship@adm.nagoya-u.ac.jp

問合せ専用フォーム

<https://dec.nagoya-u.ac.jp/inquiry/top>



2021 年度東海国立大学機構融合フロンティア次世代研究事業申請書(募集 1)【様式 1】

募集対象 (2021 年 10 月時点)

区分	年次
博士後期課程	1 年次在籍者
医学博士課程	2 年次在籍者

申請分野【第 1 希望】	第 1 希望の申請分野にチェックを入れてください ☐ バイオサイエンス ☐ 革新的学際 ☐ 脱炭素・環境 ☐ グローカル推進		
申請分野【第 2 希望】 *任意	第 2 希望の申請分野にチェックを入れてください ☐ バイオサイエンス ☐ 革新的学際 ☐ 脱炭素・環境 ☐ グローカル推進		
申請分野【第 3 希望】 *任意	第 3 希望の申請分野にチェックを入れてください ☐ バイオサイエンス ☐ 革新的学際 ☐ 脱炭素・環境 ☐ グローカル推進		
申請番号 *10 桁(英字 1 桁+数字 9 桁)			
入学年次	該当する入学年次にチェックを入れてください 博士後期課程 ☐ 2021 年 4 月入学・進学者 ☐ 2021 年 10 月入学・進学者 医学博士課程 ☐ 2020 年 4 月入学・進学者 ☐ 2020 年 10 月入学・進学者 (その他:)		
氏名		年齢	
		生年月日	
所属 (他大学申請者は、大学名から記載)	大学	研究科	専攻
学生番号	*申請時に把握している学生番号を記入してください		
在籍区分 (2021 年 10 月時点)	☐ 在学 ☐ 休学 ☐ 留学 (年 月) <=休学または留学を選択した場合は、復学予定年月を記入してください。		
連絡先	携帯番号		
	メールアドレス		
卓越大学院プログラム 博士リーディングプログラム、その他プログラム等の在籍状況 (該当者のみ)	現在、または過去に在籍した卓越大学院、リーディング、その他プログラムがある学生は該当箇所にチェックを入れてください。 ○卓越プログラム ☐ GTR ☐ DII ☐ CIBoG ☐ TMI ○リーディングプログラム ☐ フロンティア宇宙 ☐ PhD 登龍門 ☐ 実世界 ☐ ウェルビーイング ○その他 () プログラム名を記載してください。		
奨学金等受給状況 (2021 年 10 月 1 日現在)	下記の奨学金等は、 ☐ 受給していない ☐ 受給している(「受給している」場合は、申請ができません。) ・日本学術振興会の特別研究員 ・国費外国人留学生制度・母国からの奨学金を受給 ・名古屋大学融合フロンティアフェローシップ ・その他奨励金(当フェロー制度と併給できないもの)		
収入制限への該当 (2021 年 10 月 1 日現在)	収入制限に、 ☐ 該当しない ☐ 該当する(「該当する」の場合は、申請ができません。) ※所属する大学や企業等から、生活費相当額として十分な水準(240 万円/年)で、給与・役員報酬等の安定的な収入を得ていると認められる学生は応募できません		

※申請事前登録と同じ内容を記入してください。

2021 年度東海国立大学機構融合フロンティア次世代研究事業概要等【様式 2-A】

融合フロンティア次世代研究事業では、**共同研究・融合研究**をすることが強く求められています。自身の研究をさらに発展させるために、どのような共同研究・融合研究をするとよいのかをしっかりと検討してください。検討後には指導教員とも相談して、計画を立てるようにしてください。それらを以下の申請書に明記ください。なお、審査員は異分野の先生方もおられます。専門外の人でもわかるような内容、表現で記載ください。

【研究題名】
【研究計画】（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。なお、本項目は 1 頁 に収めてください。様式の変更・追加は不可（以下同様）） (1) 研究の位置づけ 博士後期課程（医学博士課程）3 年間で取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。

2021 年度東海国立大学機構融合フロンティア次世代研究事業概要等【様式 2-B】

【研究計画】(図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。なお、本項目は **2 頁** に収めてください。様式の変更・追加は不可(以下同様))

(2) 研究目的・内容等

- ① 研究目的、研究方法、研究内容について記述してください。
- ② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。
- ③ 研究の特色・独創的な点(先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等)にも触れて記入してください。
- ④ 所属研究室の研究活動との関連において、提案者が担当する部分を明らかにしてください。
- ⑤ 研究計画の期間中に異なる研究機関(外国の研究機関等を含む)において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。

2021 年度東海国立大学機構融合フロンティア次世代研究事業概要等【様式 2-C】

【研究遂行力等の自己分析】※各事項の字数制限はありませんが、全体で **1 頁** に収めてください。

本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における「自身の強み」について、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。特に、融合フロンティア次世代研究事業では、世界・日本が直面する様々な課題を解決するとともに、将来の知識基盤社会を先導する博士人材になっていただくことを目的にしています。その目的に関して、すでにこれまでの活動経験から得た能力等があればこの欄に記載ください。

2021 年度東海国立大学機構融合フロンティア次世代研究事業概要等【様式 2-D】

【目指す研究者像等】※各事項の字数制限はありませんが、全体で **1 頁** に収めてください。

融合フロンティア次世代研究事業では、世界・日本が直面する様々な課題を解決するとともに、将来の知識基盤社会を先導する博士人材になっていただくことを目的にしています。この目的に鑑み、(1)「目指す研究者像」と「博士号取得後のキャリアパス」(2)「キャリアパス実現のため必要と考えている要素」と「実施予定をしている活動や経験」を記入してください。特に、本事業では共同研究・融合研究をすることと、異分野の国内外の多くの人々との接点を持つことを推奨しています。それらへの取組意欲や具体的な活動などについても記載してください。

2021 年度東海国立大学機構融合フロンティア次世代指導教員等推薦書【様式3】

申請番号：

申請者名：

本項目は1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

融合フロンティア次世代研究事業では、世界・日本が直面する様々な課題を解決するとともに、将来の知識基盤社会を先導する博士人材の育成を目指しています。そのために本事業では、自身の研究を発展させるために共同研究・融合研究をすることを必須としています。共同研究・融合研究として誰と・どのように・何をすればいいのかを研究者として考え、学位取得するための計画をして、実行していただきます。そのため、指導教員として、それらの目的や意図を理解し、申請者の指導にあたってください。推薦書では、本事業のことをよく理解していただいたうえで、申請者自身の能力や申請者が取り組む研究について記載ください。

申請者が3年間で本事業の目的を達成し、学位取得後に社会で活躍できる人材であろうということをよく理解している人が作成ください。

推薦書作成者氏名

研究科専攻名

他大学の場合は、大学名から記載

申請者との関係

研究者としての強み

今後、社会で活躍するため必要と考えている要素

2021 年度東海国立大学機構融合フロンティア次世代指導教員等推薦書【様式3】

本項目は1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

融合フロンティア次世代研究事業では共同研究・融合研究が必須です。申請者を受け入れるにあたっての「指導計画」、受け入れ研究者自身または研究室で行っている研究と「申請者が行う予定の共同研究・融合研究との関連性、期待される相乗効果」について記載ください。

（申請者の研究の発展性だけでなく、申請者を受け入れることによって期待される、受け入れ研究者（研究室）の研究に対する影響、波及効果についても明記してください。）

2021 年度東海国立大学機構融合フロンティア次世代研究事業申請書(募集 2, 3)【様式 1】

募集対象【募集 2】(2021 年 10 月時点)

区分	年次
博士後期課程	2 年次在籍者
医学博士課程	3 年次在籍者

募集対象【募集 3】(2021 年 10 月時点)

区分	年次
博士後期課程	3 年次在籍者
医学博士課程	4 年次在籍者

申請分野【第 1 希望】	第 1 希望の申請分野にチェックを入れてください ☐ バイオサイエンス ☐ 革新的学際 ☐ 脱炭素・環境 ☐ グローカル推進		
申請分野【第 2 希望】 *任意	第 2 希望の申請分野にチェックを入れてください ☐ バイオサイエンス ☐ 革新的学際 ☐ 脱炭素・環境 ☐ グローカル推進		
申請分野【第 3 希望】 *任意	第 3 希望の申請分野にチェックを入れてください ☐ バイオサイエンス ☐ 革新的学際 ☐ 脱炭素・環境 ☐ グローカル推進		
申請番号 *10 桁(英字 1 桁+数字 9 桁)			
入学年次	該当する入学年次にチェックを入れてください 【募集 2】 博士後期課程 ☐ 2020 年 4 月入学・進学者 ☐ 2020 年 10 月入学・進学者 医学博士課程 ☐ 2019 年 4 月入学・進学者 ☐ 2019 年 10 月入学・進学者 (その他:) 【募集 3】 博士後期課程 ☐ 2019 年 4 月入学・進学者 ☐ 2019 年 10 月入学・進学者 医学博士課程 ☐ 2018 年 4 月入学・進学者 ☐ 2018 年 10 月入学・進学者 (その他:)		
氏名		年齢	
		生年月日	
所属	研究科	専攻	
学生番号			
在籍区分 (2021 年 10 月時点)	☐ 在学 ☐ 休学 ☐ 留学 (年 月) <=休学または留学を選択した場合は、復学予定年月を記入してください。		
連絡先	携帯番号		
	メールアドレス		
卓越大学院プログラム 博士リーディングプログラム、その他プログラム等の在籍状況 (該当者のみ)	現在、または過去に在籍した卓越大学院、リーディング、その他プログラムがある学生は該当箇所にチェックを入れてください。 ☐ 卓越プログラム ☐ GTR ☐ DII ☐ CIBoG ☐ TMI ☐ リーディングプログラム ☐ フロンティア宇宙 ☐ PhD 登龍門 ☐ 実世界 ☐ ウェルビーイング ☐ その他 () プログラム名を記載してください。		
奨学金等受給状況 (2021 年 10 月 1 日現在)	下記の奨学金等は、 ☐ 受給していない ☐ 受給している(「受給している」場合は、申請ができません。) ・日本学術振興会の特別研究員 ・国費外国人留学生制度・母国からの奨学金を受給 ・名古屋大学融合フロンティアフェローシップ ・その他奨励金(当フェロー制度と併給できないもの)		
収入制限への該当 (2021 年 10 月 1 日現在)	収入制限に、 ☐ 該当しない ☐ 該当する(「該当する」の場合は、申請ができません。) ※所属する大学や企業等から、生活費相当額として十分な水準(240 万円/年)で、給与・役員報酬等の安定的な収入を得ていると認められる学生は応募できません		

※申請事前登録と同じ内容を記入してください。

2021 年度東海国立大学機構融合フロンティア次世代研究事業概要等【様式 2-A】

融合フロンティア次世代研究事業では、世界・日本が直面する様々な課題を解決するとともに、将来の知識基盤社会を先導する博士人材になっていただくことを目的にしています。自身の研究を発展させるために、異分野の人と協働することを予定している人は、その内容を入れて作成してください。すでに研究内容が確定し、遂行している場合は、残りの大学院時代に少しでも多くの異分野の人と接する機会を持つためにできることを検討し記載ください。なお、審査員は異分野の先生方もおられます。専門外の人でもわかるような内容、表現で記載ください。

【研究題名】
【研究計画】(図表を含めてもよいので、わかりやすく記述してください。なお、本項目は 1 頁 に収めてください。様式の変更・追加は不可(以下同様)) (1) 研究の位置づけ 博士後期課程 3 年間(医学博士課程 4 年間)で取り組んでいる研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。 (2) 研究目的・内容等 ① 研究目的、研究方法、研究内容について。 ② どのような計画で、どこまで明らかになっているのか、そして残りの期間で何を行おうとするのか。 ③ 研究の特色・独創的な点(先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト等)にも触れてください。 ④ 研究計画の期間中に異なる研究機関(外国の研究機関等を含む)において研究に従事する(あるいは従事した)ことがある場合は、具体的に記入してください。

2021 年度東海国立大学機構融合フロンティア次世代研究事業概要等【様式 2-B】

【目指す研究者像等】※各事項の字数制限はありませんが、全体で **1 頁** に収めてください。

融合フロンティア次世代研究事業では、世界・日本が直面する様々な課題を解決するとともに、将来の知識基盤社会を先導する博士人材になっていただくことを目的にしています。この目的に鑑み、(1)「目指す研究者像」と「博士号取得後のキャリアパス」(2) 「キャリアパス実現のため必要と考えている要素」と「実施した（あるいは実施予定をしている）活動や経験」を記入してください。特に、本事業では共同研究・融合研究をすることと、異分野の国内外の多くの人々との接点を持つことを推奨しています。それらに関する具体的な活動があればそれらについても記載してください。

2021 年度東海国立大学機構融合フロンティア次世代指導教員等推薦書【様式3】

申請者名：

本項目は1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

融合フロンティア次世代研究事業では、世界・日本が直面する様々な課題を解決するとともに、将来の知識基盤社会を先導する博士人材の育成を目指しています。推薦書では、本事業のことをよく理解していただいたうえで、申請者が取組む研究や申請者自身の能力について記載ください。

申請者の研究への取組姿勢や学位取得後に社会で活躍できる人材であろうということをよく理解している人が作成ください。

推薦書作成者氏名	
研究科専攻名 他大学の場合は、大学名から記載	
申請者との関係	
申請者が取組む研究：受け入れ研究者自身または研究室で行っている研究との関連性、受け入れ研究者（研究室）の研究に対する影響、波及効果について	
申請者自身の能力：研究者としての強みと、今後、社会で活躍するため必要と考えている要素	

申請概要動画作成について

【融合フロンティアフェローシップ、融合フロンティア次世代リサーチャー共通】

申請においては、以下の要領で動画を作成してください。

【内容】

1. 申請書に書いた研究内容と研究計画の概要を、専門分野が全く異なる人にもわかるように説明してください。
2. 具体的には、自分の研究の価値や位置づけ、実際に行う内容、3年間の計画は必ず書いてください。
3. さらに、以下についても一言でよいので説明してください。
 - フェローの場合は、目標とする研究者像とそのために実施する活動
 - リサーチャーの場合は、融合研究の目的やそのための活動、国内外で活躍できる人材になるための活動

【作成方法】

1. パワーポイント4枚以内
 - 1枚目：申請番号、研究題名、所属、学年、名前（申請書と同じ表記にしてください）
 - 2～4枚目：上記の内容
2. 時間は3分以内。容量は30MB以内で作成してください。凝ったアニメーションや容量の大きい写真を使用すると容量が増加します。端的に伝えることを目的として、シンプルに作成してください。
3. 録画方法は自由です。いくつか以下に例を挙げます。
 - パワーポイントの「スライドショーの記録」で、顔と音声をオンにして録画する場合は、保存時に「mp4」の動画のスタイルになるように保存してください。（作成方法は2ページ目以降を参考にしてください。）
 - Zoom やビデオカメラやスマホなどで録画する場合には、パワーポイントがはっきり見えるようにしてください。
4. ファイル名は以下のようにしてください。これが守れない場合は、審査されない可能性があります。
mov(申請番号) 例；mov(A210012345)

【注意点】

1. 審査員は、同じ専攻の先生が行うわけではありません。専門用語は極力使用せず、より上位の言葉で置き換えるなどして、誰でもわかるように説明をしてください。
2. 動画は以下の2点で使用します。
 - ① 申請者が書いた申請書の概要を理解するのに使用します。この動画がわかりにくいと、申請書の理解も困難になります。
 - ② 書類選考を通過した場合には、この動画を面接用の資料として使用します。よって、面接時には質疑応答のみを実施することになります。面接時に動画を改めて作成しなおすことはできません。
3. 審査員は、大量の審査を行います。動画を見返したり、一つの申請書に時間をかけてじっくり読み込むとは限りません。動画では短時間で理解できるように要点を的確に伝えることが必要です。パワーポイント1枚に数枚のパワーポイントを埋め込むなどしても、情報が多すぎて、審査員に理解しやすいとは限りません。
4. はっきりした口調で、大きな声で、自信をもって説明してください。
5. 英語話者は英語で作成し、英語で説明してもよいです。しかし、審査員は専門分野外の教員ですので、わかりやすく説明することが必要です。
6. 作成上の注意が守られていない場合には、審査対象外になります。

PowerPoint(動画形式)音声録音方法

本資料ではMicrosoft Office PowerPoint2019での音声録音方法を説明します。

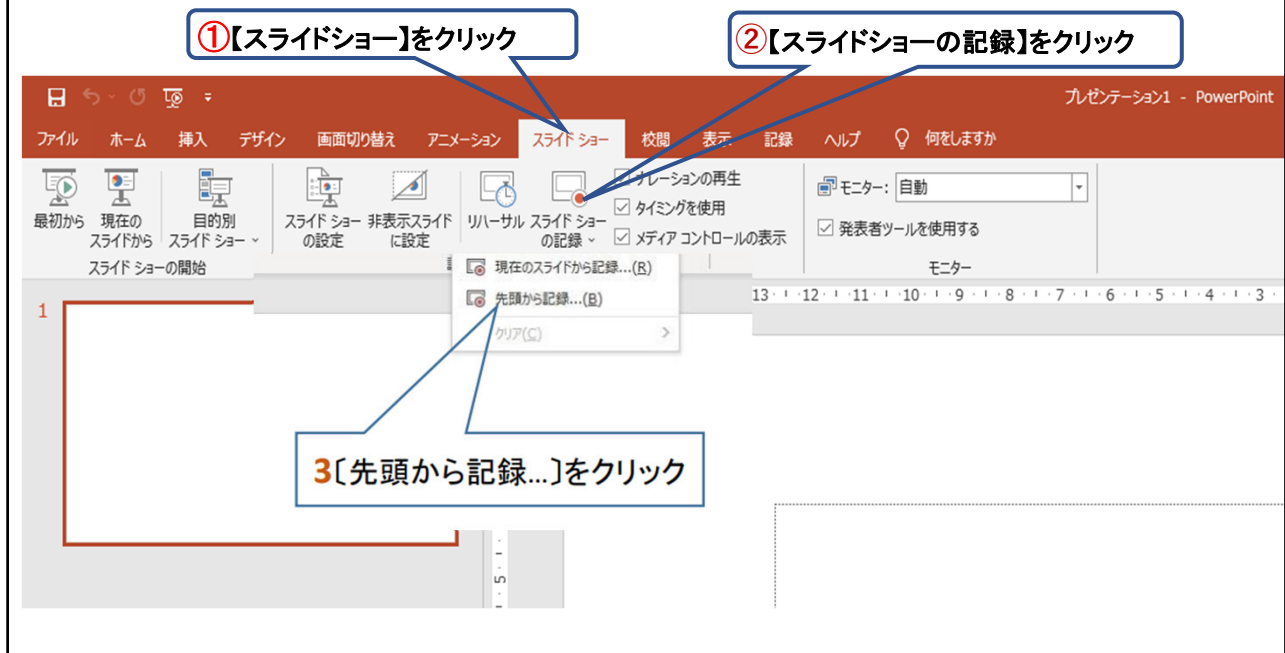
他のバージョンのPowerPointをご利用の場合も、同じような操作で作成が可能です。

本資料末のURLを参考に作成ください。

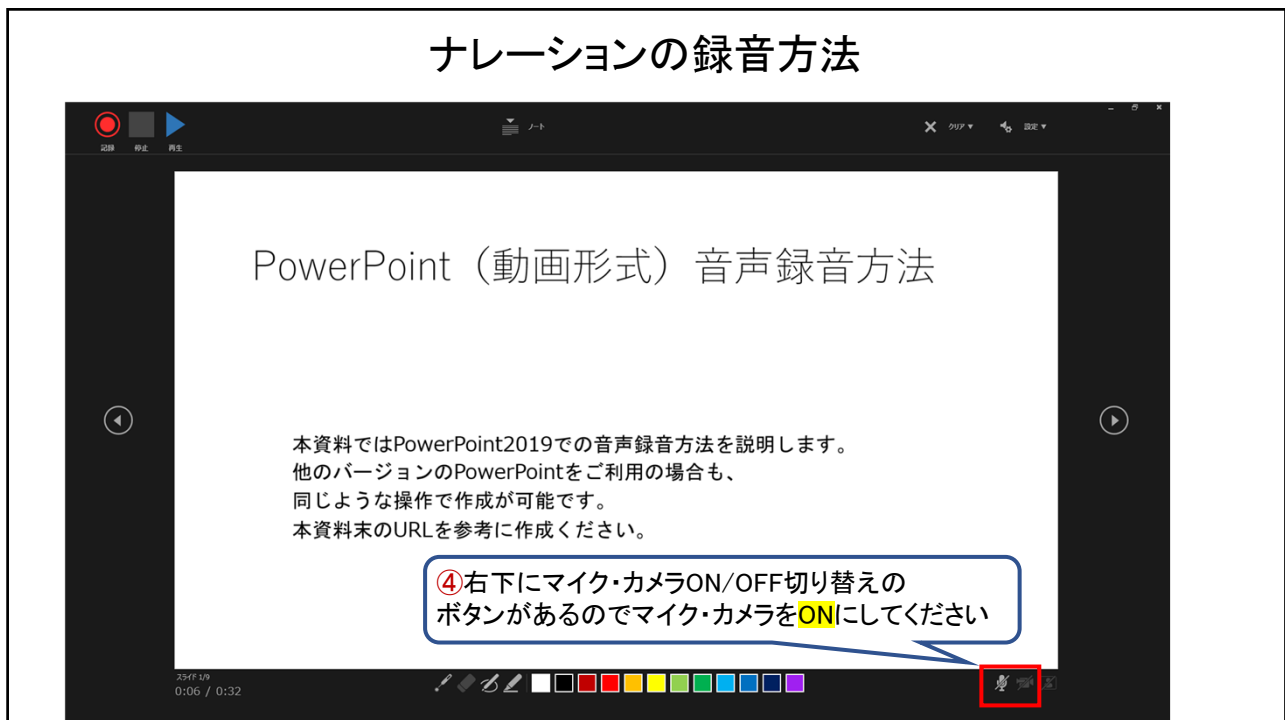
動画作成の条件

- パワーポイント4枚以内
- 1枚目: 申請番号、研究題名、所属、学年、名前(申請書と同じ表記)
- 2～4枚目: 別紙(申請概要動画作成について)参照
- 時間: 3分以内(厳守)
- ファイル容量: 30MB以内
- ファイル形式: MP4
- ファイル名: mov(申請番号) 例: mov(A210012345)

ナレーションの録音方法



ナレーションの録音方法



ナレーションの録音方法

PowerPoint(動画形式)音声録音方法

本資料ではPowerPoint2019での音声録音方法を説明します。
他のバージョンのPowerPointをご利用の場合も、
同じような操作で作成が可能です。
本資料末のURLを参考に作成ください。

⑤ カメラをONにするとこのように右下に枠ができる
ので顔が見える状態になっているか確認してください



⑥ 【記録】をクリックすると3秒後に録音が始まります

ナレーションの録音方法

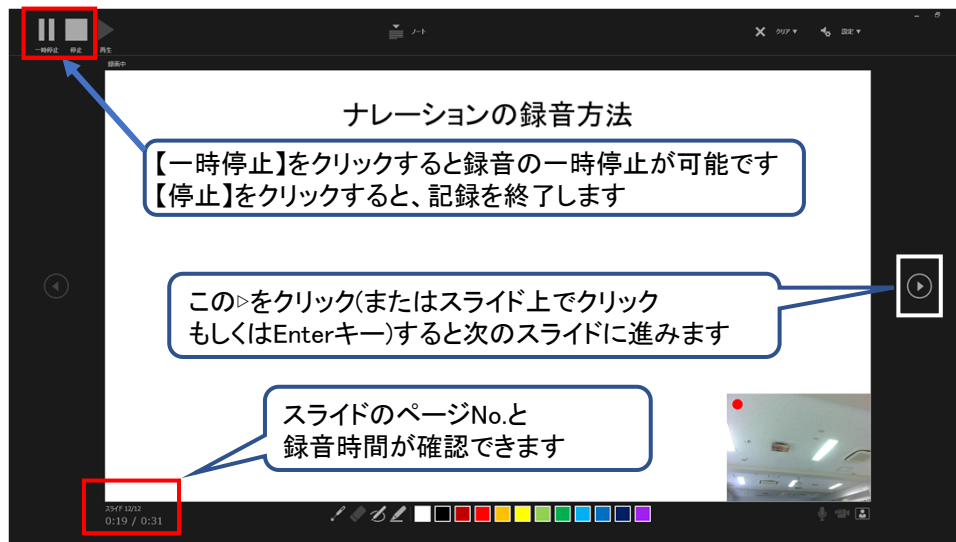
PowerPoint(動画形式)音声録音方法

本資料ではPowerPoint2019での音声録音方法を説明します。
他のバージョンのPowerPointをご利用の場合も、
同じような操作で作成が可能です。
本資料末のURLを参考に作成ください。

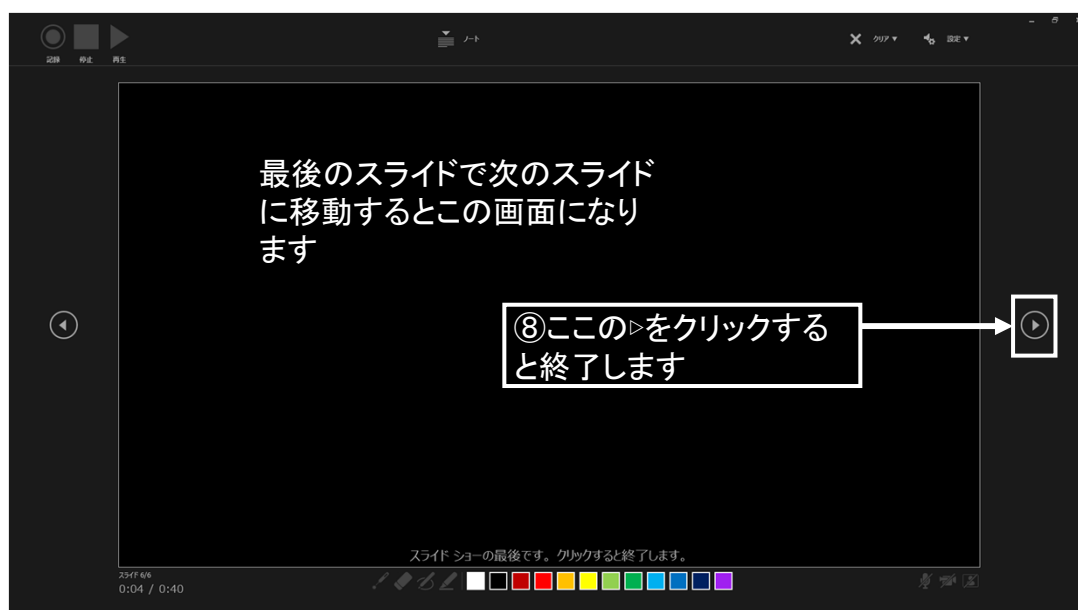


ナレーションの録音方法

⑦マイクに向かってナレーションを録音してください
※スライドは任意のタイミングで進めることができます



ナレーションの録音方法



ナレーションの録音方法 スライドの動画化方法

①「ファイル」を選択

②「名前を付けて保存」を選択

③ファイル名はmov(申請番号)
ファイルの種類はmp4で保存してください

①「ファイル」→②「名前を付けて保存」→③「指定のファイル名にてmp4で保存」

参考: Power Pointのナレーション付き動画作成

<https://support.office.com/ja-jp/article/%E3%83%93%E3%83%87%E3%82%AA%E3%82%B9%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%89%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%BC%E3%82%92%E8%A8%98%E9%8C%B2%E3%81%99%E3%82%8B-2570dff5-f81c-40bc-b404-e04e95ffab33>

パワーポイントを持っていない方へ

機構アカウントについて

名古屋大学の学生は機構アカウントを利用し、Microsoft Office 365 デスクトップアプリ(**パワーポイント含む**)をダウンロードできます。

機構アカウントの利用方法については以下をご覧ください。

<https://icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/thersac/index.html#facu>

なお、旧アカウント(全学メールアドレスのアカウント)で利用できるWeb版のパワーポイントは機能制限されているため、動画作成はできません。

※機構アカウントに関してのお問い合わせは、下記URLよりお願いいたします。

<https://thersac.icts.nagoya-u.ac.jp/hc/ja>

2021 年度東海国立大学機構
融合フロンティア次世代リサーチャー 申請書チェックリスト

本チェックリストは、申請書が融合フロンティア次世代リサーチャー「申請マニュアル」に沿って作成されているか確認するためのものです。

申請書を提出する前に各項目に問題がないかチェックする際にご利用ください。
このチェックリストは**提出不要**です。

【様式1, 2】

項目	確認内容	チェック
フッター	全てのページの 右下 に、申請番号が記入されているか。	
ページ番号	全てのページの 中央 に、ページ番号が記入されているか。	
ページ数	各様式で指定されたページ数に収まるように作成しているか。 <募集1> 様式1：1ページ 様式2-A：1ページ、様式2-B：1～2ページ 様式2-C：1ページ、様式2-D：1ページ <募集2、3> 様式1：1ページ 様式2-A：1ページ、様式2-B：1ページ	
ページ数	提出ファイルのページ数は申請マニュアル通りになっているか。 募集1：最大6ページ 募集2：3ページ	
様式の改編	様式の枠や表が改編されていないか。	
様式の改編	各項目のタイトル・説明文が改編、削除されていないか。	
記入漏れ	空欄はないか。	
提出形式	様式1, 2をまとめて、1つのPDFファイル形式となっているか。	
ファイル名	ファイル名は、form1（申請番号）になっているか。 バイオサイエンス：B+数字9桁 革命的学際：K+数字9桁 脱炭素・環境：D+数字9桁 グローカル推進：G+数字9桁	

【様式3】

項目	確認内容	チェック
フッター	全てのページの右下に、申請番号が記入されているか。	
ページ番号	全てのページの中央に、ページ番号が記入されているか。	
ページ数	各様式で指定されたページ数に収まるように作成しているか。	
様式の改編	様式の枠や表が改編されていないか。	
様式の改編	各項目のタイトル・説明文が改編、削除されていないか。	
記入漏れ	空欄はないか。	
提出形式	PDF ファイル形式となっているか。	
ファイル名	ファイル名は、form3（申請番号）になっているか。	

【申請概要説明動画】

項目	確認内容	チェック
ページ数	パワーポイント4枚以内になっているか。	
時間	3分以内になっているか。	
容量	30MB 以内になっているか。	
提出形式	mp4形式となっているか。	
ファイル名	ファイル名は、mov（申請番号）になっているか。 例：mov（A210012345）	